

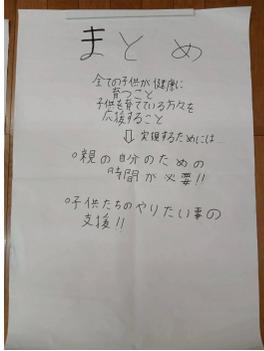
「健やか親子おきなわ2025(成育医療等計画)」 計画策定に係るこども・若者等の意見表明

実施結果及びフィードバックについて



沖縄県こども未来部
令和7年12月

1 こども、若者等の意見表明の取組と実施結果

取組名	参加者数	取組の様子
<p>大学生ファシリテーターと一緒に考えるワークショップ</p> <p>【開催日】 1回目：令和7年11月15日（南部） 2回目：令和7年11月29日（北部）</p>	<p>1回目 小学生：1名 中学生：2名 高校生：1名 大学生（ファシリテーター）：2名</p> <p>2回目 小学生：2名 中学生：3名 大学生（ファシリテーター）：2名</p> <p>合計：13名</p>	<p>大学生ファシリテーターと一緒に、こどもたちが意見を出し合い、その意見をまとめてもらった。最後にまとめた意見を発表してもらいました。</p> 
<p>こども・若者モニターを活用したアンケート調査</p> <p>【調査期間】 令和7年11月21日～令和7年12月4日</p>	<p>小学生から29歳までの方を対象として集められたこども・若者モニターの方々を対象として実施した。</p> <p><合計参加者数> 小学生：12名 中学生：6名 高校生：6名 大学生等：10名</p> <p>合計：34名</p>	 <p>事前に登録されているこども・若者モニターに、本計画の概要についてまとめた説明資料を読んでいただいた上で、Webアンケートにて意見表明を実施してもらいました。</p>

2つの取組の参加者数合計：47名

2 健やか親子おきなわ2025(成育医療等計画)への意見の反映について

(1) 健やか親子おきなわ2025 (成育医療等計画) ってどんなことが書いてあるの？

令和7年度に作る「健やか親子おきなわ2025(成育医療等計画)」は、下記の項目から出来ています。みなさんからの意見は、**第1章から第3章の部分に反映**されています。

第1章 計画の策定にあたって

なぜ健やか親子おきなわ2025計画を作るのか、この計画が掲げる目標や目的について書いてるよ！

第2章 現状と課題

沖縄県の妊娠前から妊娠期、こどもとその保護者を取り巻く社会の状況・課題について説明しているよ。

第3章 基本方針ごとの基本施策と取組

基本方針1 妊娠前から産後までの切れ目のない支援体制

- 妊娠前から妊娠期、産後の方への支援
- 妊娠・出産を安全に行うための環境づくり

基本方針2 こどもの心身の健やかな成長を支える取組

- 乳幼児期の健康の推進
- 病気を抱えるこどもへの支援
- 学童期・思春期の体と心の健康の推進

基本方針3 安心して子育てができる環境づくり

- 仕事と子育ての両立支援
- 子育て世帯への支援
- ネットリテラシーの普及啓発
- 災害時等での妊産婦やこどもの医療の確保

第4章 指標及び目標値

本計画の理念「すべてのこどもが健やかに成長し、誰もが安心してこどもを産み育てることが出来る社会の実現」の達成度合いを評価するための指標

2 健やか親子おきなわ2025(成育医療等計画)への意見の反映について

(2) 意見表明のフィードバックについて

みなさんから頂いたたくさんのご意見をすべて読んで、計画へ反映できるか検討しました。

この資料では、みなさんの意見が、健やか親子おきなわ2025計画の中の「どこに」反映されているのかを説明しています。

また、今回計画への反映が難しかった意見などは、「(3)意見の紹介」の部分で、大切な意見として紹介しています。

※この資料を作成する際、似たような意見については一つにまとめて書いています。

○ 誰からの意見なのか（意見の区分）

みなさんから表明してもらった意見は、（小学生）、（中学生）、（高校生）、「大学生年代～20代の方」の方は（大学生等）と、誰から表明された意見なのか分かるように（ ）を付けて整理しました。

「大学生ファシリテーターと一緒に考えるワークショップ」でのグループワークででた意見は（若者）と付けました。

【 意見のカテゴリー 】

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 妊娠前から妊娠期、産後の方への支援 | 4 子育て世帯への支援 |
| 2 学童期・思春期の体と心の健康の推進 | 5 ネットリテラシーの普及啓発 |
| 3 仕事と子育ての両立支援 | |

1 妊娠前から妊娠期、産後の方への支援

みなさんからの意見

10代の頃から生理痛が重く長年我慢していたが、数年前に婦人科に通院した際、そこで初めて子宮内膜症と重い生理痛は病気であると教えてもらい治療をしている。

早めに病院に受診していれば良かったと思い、今の子どもたちには、医療の知識を持った専門家による講義などで、性別の分け隔てなく、**身体の変化および我慢せず病院に行くこと、自分や他人の身体を尊重すること**を伝えて欲しい。
(大学生等)

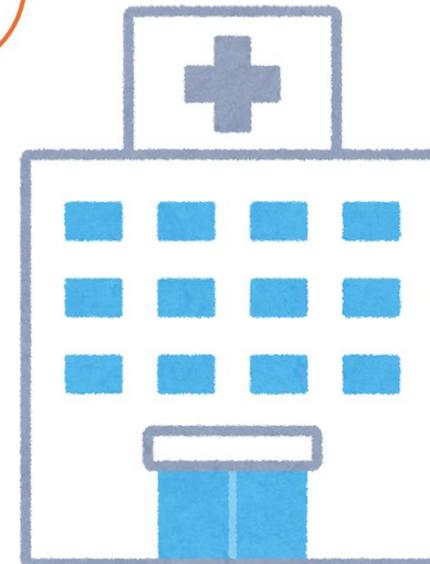
書いてあるところ

◆第3章基本方針1 基本施策(1)① 性等に関する正しい知識の習得 とプレコンセプションケアの推進

○性等に関する正しい知識を身につけるため、学校、家庭、医療機関、市町村などが連携を強化し、思春期保健の取組や発達段階に応じた性に関する指導の充実に取り組む。

県の考え

子どもたちが性等に関する知識を身につけられるように、関係するいろいろな機関が協力し、成長にあわせたわかりやすい性教育を進めていきます。



2 学童期・思春期の体と心の健康の推進

みなさんからの意見

- 早寝早起き、朝食を必ず取るよう促す。好き嫌いせず、しっかりと食事をとる。(小学生)
(高校生) (大学生等) (若者)
- 歯の定期健診を行う。(中学生)
- 色々な健康面や生活面の講演があるといい。(小学生)

書いてあるところ

◆第3章基本方針2基本施策(4)①生活習慣の形成・定着及び健康増進

- 家庭や関係団体との連携・協働により、学校において食育や早寝・早起き・朝ごはん運動に取り組む。
- 市町村と連携し、健康増進や食生活改善に係る普及運動、歯みがき、甘味(砂糖)の適正摂取方法等、むし歯予防に関する知識の普及を行う。

◆第3章基本方針2基本施策(4)⑤学校における健康教育の推進

- 心と体の健康について関心を持ち、健康な生活習慣を身につけることができるよう、学校における健康教育に取り組む。

県の考え

こどもや学生が一生健康に過ごせるように、毎日きちんとした生活リズムを身につけたり、虫歯を防ぐための知識をみんなに教えていきます。



2 学童期・思春期の体と心の健康の推進

みなさんからの意見

- 困ったときに相談室やスクールカウンセラーがいると安心できる。(若者)
- 外部の人に話せる場所や相談できる環境が欲しい。(若者)
- 電話相談は相手の顔を気にせずにでき、心が軽くなる。(若者)
- お昼寝時間があると午後の授業に集中しやすい。(若者)
- 些細なことでもいつでも相談できる仕組みを確立してほしい。(小学生)(高校生)
- 不登校を減らす。(中学生)
- 嫌なことがあった時、周囲の気軽に話せる大人に話して解決するので、たくさんのおもちゃたちがもっと気軽に周囲の大人と話せるような機会があったらいいと思う。(高校生)
- 子ども心身に関するケアサポート(大学生等)

書いてあるところ

◆第3章基本方針2基本施策(5)②自殺予防対策の推進、リスクの早期発見

- スクールカウンセラー等の配置・活用、24時間子供SOSダイヤル、SNSを活用した相談体制等の充実を図る。
- 不登校・ひきこもり・ニート等の困難を有する子ども・若者からの様々な相談に応じ、適切な支援機関に繋ぐ「子ども若者みらい相談プラザsorae」と関係機関等が連携を図り、切れ目のない支援体制を構築する。

県の考え

子どもたちのいろいろな心の問題に対応できるように、相談できるしくみを作ったり、地域のいろいろな団体と一緒に助け合う仕組みを作っていきます。



《24時間子供SOSダイヤル》

TEL：0120-0-78310 (24時間対応)

《子ども若者みらい相談プラザsorae (そらえ)》

○那覇 TEL：098-943-5335

○名護 TEL：0980-43-8300

2 学童期・思春期の体と心の健康の推進

みなさんからの意見

○こどもたちにも年齢に合わせた**性教育・防犯の授業**を行い、自分の身を守る方法や何かあったら大人に相談する等、より踏み込んだ内容も教えていくべきではないかと思う。(大学生等)



書いてあるところ

◆第3章基本方針2基本施策(4)③ 性と健康に関する教育や普及啓発・相談支援の推進

- 「生＝性教育」を継続して行い、こどもの性に関する悩み等への相談支援を実施するなど、性についての正しい知識の普及啓発を図る。
- こどもに対する包括的性教育の充実を図るため、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等、幸福（ウェルビーイング）など幅広いテーマで、こどもに携わる方々に対する研修や講座、県民の理解増進を図るための啓発活動を実施する。

県の考え

こどもたちが年齢に合わせて正しい性の知識を学べるように、相談できる仕組みを使って正しい情報を広げたり、包括的性教育を県民にもっと理解してもらえるようにします。

《性に関する相談窓口》

- 沖縄県性と健康の相談センター
- みんなの保健室おきなわ
- 沖縄県若年にんしんSOS
- 沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター（with you おきなわ）
- ている相談室

3 仕事と子育ての両立支援

みなさんからの意見

- 親への支援として、**こどもと家事を分担**することが必要である。(若者)
- 家事の大半を母**が担っているため、分担する必要がある。(高校生)
- 子育てをしている自覚がない父親**が多いと感じる。(大学生等)

- 有給の増加や、**休みを取れる職場の雰囲気づくり**。(小学生)(中学生)(若者)
- 1日8時間の週6勤務**を完全に禁止にしてほしい。(大学生等)
- 子育て世帯の夫婦が**早い時間に退勤**できるような会社が増えるといい。(大学生等)
- こどもが幼い時は両親が仕事から早く帰ってくるので、こどもが大きくなったら**仕事に専念**できるようにして欲しい。(小学生)

書いてあるところ

◆第3章基本方針3基本施策(1)① 仕事と子育てを両立できる環境づくりの推進

- 性別にかかわらず、家族が相互に協力しながら、家事・育児・介護等においてそれぞれの責任を担っていくことができるよう、幅広い層に対応した啓発活動などに取り組む。

◆第3章基本方針3基本施策(1)① 仕事と子育てを両立できる環境づくりの推進

- 長時間労働の是正や休暇の取得促進、仕事優先の考え方や働き方を見直し、育児とキャリア形成の両立等、ワークライフバランスの推進に取り組む。

県の考え

家族がお互いに協力しながら家事等を行うよう呼びかけていきます。

仕事と子育てを両立できるよう、ワークライフバランスについて理解を広めたり、働きやすい職場を作るための取組をしています。

4 子育て世帯への支援

みなさんからの意見

○ひとり親への金銭的支援として、塾の支援、余り物の寄付、有休の増加、給食費免除などを行う。
(若者)

○親への支援として、親が悩みを話せる**カウンセラー**や、親が休めるよう**子どもを預けられる場所**が必要。
(若者)

○相談したいが人と関わるのは苦手な**内向的な親の助け**になる活動があるといい。
(高校生)

○子育て世帯を**地域で支えていく環境**を作っていけたらいい。
(高校生)

○**子育てセミナー**や**親子教室**を行い、参加者にベビー用品を配布することも併せて行う。
(大学生等)

○**孤独じゃない**と実感できる環境づくりが必要。
(大学生)

○**子育てで起こる問題**等の解決策を考える機会があると良い。
(高校生)

書いてあるところ

◆第2章4(3)ひとり親家庭の現状

○ひとり親家庭は、子育てと生計維持を一人で担っているため、就業をはじめ、育児や教育、住居等の問題など、日常生活全般にわたり様々な困難を抱えていることから、それぞれの家庭の状況に応じた適切な支援につなげる**ことが重要である**。

◆第3章基本方針3基本施策(3)① 様々な子育て支援の推進

○子育て親子の交流や育児に関する相談、情報提供を行う地域子育て支援拠点事業や、子育て支援に関する相談、関係機関との連絡調整等を行う利用者支援事業について、市町村の実情に応じて拡充できるよう支援する。

○子育て世帯への訪問、面談を通して子育て世帯の状況を把握し、情報提供や必要な支援につなげる市町村の取組を促進する。

県の考え

ひとり親家庭が困っていることに対して、それぞれに合った支援を行うことが大切だと考えています。

子育てをしている親と子どもが交流できる場を作ったり、育児の相談ができるように市町村が取り組んでいます。また、市町村による子育て世帯へ訪問する支援も進めています。

4 子育て世帯への支援

みなさんからの意見

- こども手当等の**金銭的な支援**を増やす事。(小学生)(中学生)(大学生等)(若者)
- 家庭の支出を減らす**ため、子供服のリユース会の回数を増やしてほしい。(中学生)
- 医療の支援**があるといい。(小学生)
- 女性がこどもや夫を扶養している場合の**手当や支援**が欲しい。(大学生等)
- 家庭の問題等を把握しそれぞれにあった**生活支援や経済的支援**等を行う。(大学生等)
- こどもが風邪をひいたときに預けられる**病児保育**の拡張。(小学生)(大学生等)

- 若い夫婦には**お金の支援以外に必要なこと**があると思う。(中学生)

書いてあるところ

◆第3章基本方針3基本施策(3)① 様々な子育て支援の推進

- 既存の支援制度につながっていなかった貧困世帯に対し、食料品等提供の支援をきっかけとし継続した支援を行う。
- 市町村において病児保育事業に取り組む。

◆第3章基本方針3基本施策(5)① こども医療費の助成

- こどもの医療に係る保護者の経済的負担を軽減し、こどもの疾病の早期発見・早期治療を促進する。

◆第3章基本方針1基本施策(1)⑨ 若年妊産婦等への支援

- 若年妊産婦等が安定した生活を送れるよう、出産・育児に関する相談・指導や、就学や就業を含めた支援を行う居場所等を設置する。

県の考え

お金のことで困っている人たちを継続的に支援したり、こどもの医療費の負担を減らしたりして、子育て世帯の経済的な負担を減らすようにしています。

市町村において、すべての家庭が安心して子育てできるよう、病児保育事業に取り組めます。

生活が苦しい家庭や、生活が苦しくなりそうな若い妊婦さんたちが、安定した生活を送れるよう、出産、育児、就学、就業などを支援し、自立できるよう取り組みます。

5 ネットリテラシーの普及啓発

みなさんからの意見

- インターネットは大量の情報を一度に取得でき、文章も早く書ける。(若者)
- 変換機能に頼ることで漢字が忘れやすくなる。(若者)
- 長時間画面を見続けることで、目が悪くなる。(若者)
- 中毒性があり、**長時間使い続けてしまう**ことがある。(若者)
- 使いすぎを防ぐために、**使用時間や目的を決める**ことが大切。(若者) (小学生) (中学生) (高校生) (大学生等)
- スマホなどと適切に付き合うために**使い方を考える**ことが大切。(若者) (大学生等)
- 家庭でのルール**を作る。(小学生) (中学生) (高校生)
- スマホの使用に関する**イベント**を行う。(中学生) (高校生)
- 義務教育での**ネットリテラシーの教育**、安心フィルター等の制限を加える。(大学生等)

書いてあるところ

◆第3章基本方針3基本施策(4)デジタル社会の子育て

- 親子でネットやスマートフォンの良い面と危険な面を正しく理解し、上手に活用できるよう普及啓発に取り組む。
- メディアへの接し方やルール作り、フィルタリングやアプリの安全設定等について普及啓発する。
- こどもが安全に安心してインターネットを利用できるよう、家庭におけるネットリテラシー教育を推進する。

県の考え

ネットやスマホの使い方について、良い面と危険な面の理解を広めること、安全な使い方やインターネットとの接し方について広めることに取り組みます。



(3) 意見の紹介 (沖縄県子ども・若者計画において取り組むこととしていること)

みなさんから届けられた意見のうち、沖縄県子ども・若者計画で取り組むこととしているものも多くありましたのでご紹介します。

公教育の再生



中学生

探究力と成長力が一番身につく環境が欲しい。面白いと思えるところまで行けば挑戦もたくさんできる。



若者

1年に1度模試をして欲しい。宿題を減らして欲しい。



中学生

学校の先生の教え方を工夫して欲しい。

○可能性に挑戦するために必要な「生きる力」を育むため、確かな学力を身に付け、豊かな心と健やかな体を育むとともに、個性を伸ばし自立に向けた資質・能力を伸ばす学校教育の推進及び時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進に取り組みます。



高校生

こどもが社会的に自立していけるような応援があると良いと思う。



若者

人間関係や本音で先生と話せない、勉強に追い付けない等いろいろな不安がある。



(3) 意見の紹介 (沖縄県こども・若者計画において取り組むこととしていること)

公共施設等の整備



スケートボードを安全に練習できる場所を提供して欲しい。

小学生



公園や体育館等の運動できる場所や勉強できる公共施設を整備して欲しい。

小学生、高校生、若者



スマホを使い過ぎてしまうのは、他に面白いことがないからだと思う。なので、福祉センターのような無料で遊べるところを作り、他のこどもたちと遊べる場所にして欲しい。

中学生

○こどもの遊び場の確保や、親同士・地域住民の交流機会を生み出す空間づくりに取り組みます。



公園の日陰スペースやミスト、扇風機など涼める場所の設置をしてほしい。

大学生等



長期休みに学校を開放して欲しい。

若者



公園の環境（遊具を増やす事や虫を減らす等）を整備して欲しい。

小学生、大学生等



(3) 意見の紹介 (沖縄県子ども・若者計画において取り組むこととしていること)

こどもの居場所づくり



児童館や寺小屋みたいな自由に遊べて学習できるスペースがあるといい。校舎の一角を使って、学生や保護者等をバイトとして雇えばすぐにできそうな気がする。

大学生等



学童が増えて欲しい。休みの日でも預けたい。

小学生、大学生等、若者



教員の働き方改革で放課後まで児童の面倒を見る必要がある部活動は削減すべきなので、学校外の活動(クラブや児童館等)が充実したらいいと思う。

大学生等



放課後や休日は、学校ではできない経験(児童館・習い事)ができる環境を整えたり、家族時間を確保できるようにしたらいいと思う。

大学生等



部活や習い事、塾に対する支援金や減免制度があるといいと思う。

中学生、大学生等



子ども食堂を増やしてほしい。

若者

- 放課後や週末等の余裕教室を活用したこどもの活動拠点の設置、既存の地域資源の活用による多様な子ども・子育て環境の充実に取り組みます。
- 様々な施設や地域資源はこどもの居場所になることから、利用料負担軽減等、多様なこどもの居場所づくりに向けて取り組みます。



(3) 意見の紹介 (沖縄県子ども・若者計画において取り組むこととしていること)

キャリア教育



高校生や大学生、学校出身者などを学校に呼んで、勉強や職業について話を聞く機会を多くして欲しい。

中学生



お金のことを学べる機会や進路を相談する機会を増やして欲しい。

若者

- 
- 職場における体験活動等を通してこどもの将来や仕事について考えるきっかけを創ります。
 - 学校における教育活動全体を通じたキャリア教育の実践・取組を支援することで、進路決定率の向上に取り組めます。

日本版DBS



近年こどもの保育・教育・保護措置を行う現場での性犯罪が多く発覚・報道され悲しさと怒りを感じる。このようなことが起きないような環境・制度づくり（監視カメラの設置、日本版DBSの施行等）が必要である。

大学生等

- 
- 国における議論を踏まえ、県警本部等との連携強化を図り、性犯罪歴等確認の仕組みやガイドラインの制定を行うなど、市町村等と連携して取り組みます。

(3) 意見の紹介 (沖縄県こども・若者計画において取り組むこととしていること)

多様な保育ニーズへの対応



無償でこどもを預かったり、一時預かりが出来る場所を増やすことで、一人時間、夫婦の時間を提供する。

大学生等



こどもの保育園・部活・習い事の送迎サービスがあるといい。

小学生、若者



職場でこどもが預かって欲しい。

若者

○すべての家庭が安心して子育てできるよう、夜間保育や延長保育、一時預かり、病児保育、放課後児童クラブの他、学校等までの送迎や一時的な預かり等を行うファミリー・サポート・センター事業など、地域資源を最大限活用し、子育て世帯のニーズや地域の実情に応じた各種事業を展開します。



簡単に入園できるように、保育園等における手続きを減らして欲しい。

若者



(3) 意見の紹介 (沖縄県子ども・若者計画において取り組むこととしていること)

いじめ防止



中学生

学校でいじめにあったが、先生や学校が守ってくれず辛かった。沖縄県がいじめがない県になるよう、学校をはじめとした大人達に考えて欲しい。



小学生

誰にもいじめられない学校にして欲しい。

- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を配置し、いじめの早期発見、早期対応に向けた相談体制の充実に取り組みます。
- 学校・家庭・地域や警察等の関係機関等といじめ対策に関する協議を行い、社会総がかりでいじめ問題の対策に取り組みます。



所得の向上



大学生等

所得を向上させる。



大学生等

ジムや食費等の費用が安くなって欲しい。その前に、最低賃金の上昇や、経済的なサポートがあると生活に余裕ができるので良いと思う。

- 従業員の所得向上に積極的に取り組む企業を認証する制度を通じ、県内企業における所得向上の取組を支援します。



(3) 意見の紹介 (沖縄県子ども・若者計画において取り組むこととしていること)

部活動の地域連携



中学生

土日祝に先生が大変なので、部活を先生と外部コーチで行う。

○部活動指導員を派遣するなど、運動部活動の適正化及び競技力向上に取り組めます。



給食



小学生

学校の給食を増やしてほしい。好きなメニューが増えて欲しい。



小学生

できるだけ自分が食べられる料理を出してほしい。



小学生

いつも食べている給食の味付けが美味しいので、親にも食べて欲しい。

○学級担任、栄養教諭等を中核に家庭や関係団体と連携・協働した食育に取り組めます。



小学生

給食でもっと栄養のある美味しいものを食べさせてほしい。



(3) 意見の紹介 (沖縄県こども・若者計画において取り組むこととしていること)

学費の補助

家庭の経済事情などをこどもは誰でも気にかけるので、一番上の子でも学費の補助や減免があるといい。



大学生等

○家庭の経済状況にかかわらず、安心して教育を受けることができるよう、就学援助や授業料、通学費、進学のための費用など状況に応じた教育費負担の軽減に取り組みます。



地域交流

地域の同じくらいの年の人と交流できる環境が欲しい。



大学生等

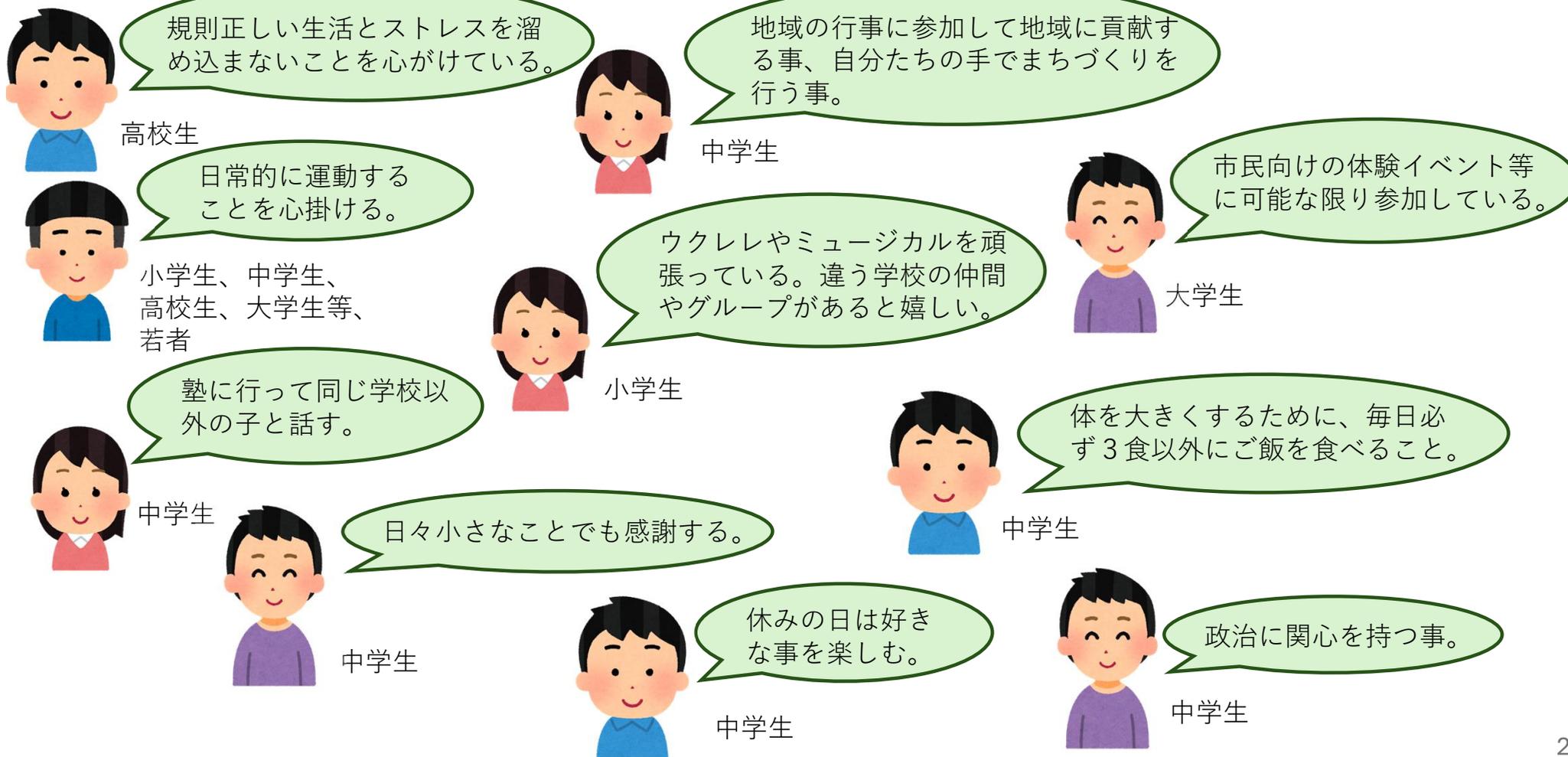
○幅広い世代の住民が交流し、その地域の身近な学習の場として多様なニーズに応えられるよう、地域コミュニティの核となる社会教育施設の学習環境の充実に取り組みます。



(3) 意見の紹介

みなさんから届けられた全部の意見を本計画へ反映することは難しかったため、みなさんが日頃感じていること、考えていることの一部をご紹介します。きょうなご意見、ありがとうございました。

こども達が頑張っていること



(3) 意見の紹介

こども達が頑張っていること

若者
手洗いやうがい、勉強を頑張っている。

小学生
友達と仲よく遊ぶ。

小学生
野菜が嫌いだけど頑張って食べている。美味しい野菜が開発されたらいいと思う。

小学生
休み時間と勉強する時の時間を守ることを頑張っている。

小学生
生活習慣が崩れないようにする。

小学生
自分がやりたいと思ったらすぐに行動する。

中学生
関りがある大人の見聞を聞くこと。

大学生等
時には甘い物等の好きなものを食べたり、一人時間や息抜き時間を作ってストレスを溜めないようにする。

中学生
毎日学校で放課後に残って勉強している。家では趣味のゲームをしている。好きな事に対する探究力を深めているが、母親からあまり褒めてもらっておらず、もっと褒めて欲しい。

こども達がしたいこと・して欲しいこと

小学生、中学生
毎日学校生活を楽しく過ごし、友達や先生と話をする。学校がきれいになったりすると通うのが楽しみになる。

小学生
親と毎日夜は一緒に寝たい。遊んでいる時に常に隣で見守ってほしい。

小学生
誕生日やクリスマスが休みだと嬉しい。

中学生
外で遊ぶおもちゃを配り、外で遊ぶ時間を増やす。

中学生
ラーケーションを早く導入してほしい

(3) 意見の紹介

こども達がしたいこと・して欲しいこと



小学生

中学生になっても部活に入りたい、旅行に行きたい、キャンプをしたい。



中学生

物事を広い視野を持って考えたり、相手の考えを知ることができるので、ディベートをする機会を増やしてほしい。小さい時から自分で考える力をつけると、学校や社会においても役に立つと思う。



中学生

地域によって学校のイベントに差がないようにして欲しい。イベントを増やして欲しい。



小学生

色々な学校の友達が集まった発表会があるとうれしいな。ウクレレやミュージカルをみてもらいたい。



大学生等

未然に病気を防ぐための受診を安くして欲しい。



大学生等

シェアハウス等で家族ではなくても誰かと繋がりのある状態にし、大人数で暮らした方がよい。



大学生等

基本的な家事の方法や、赤ちゃんの入浴介助の方法等をyoutubeに掲載して欲しい。



大学生等

学校と自治会が連携して地域のこども会に加入することで、近所のこども同士で仲良くなるだけでなく、保護者のコミュニティ形成にもつながり、地域の絆が深まると思う。こどもだけでなく保護者も自治会に加入して財源が増えれば、公民館や近所の公園の設備充実にもなる。



高校生

友達や仲間と参加できるようなイベントがあるといい。

(3) 意見の紹介

こども達がしたいこと・して欲しいこと



小学生

修学旅行で県外に行きたい。



小学生

市立図書館の一回あたりの貸し出し冊数を増やして欲しい。



高校生

口出しはせずに見守って欲しい。



高校生

赤ちゃんのベビー用品をもっと安くして欲しい。



大学生等

マッサージや映画鑑賞、食事など1回きりではなく何回も利用できるサービス。



小学生

たまに食事をかわりに作ってもらえるサービス等。



小学生

土日に対応できる病院を増やしてほしい。



大学生等

親子が不安と向き合うために、親子や学校、県や地域が団結していくことが大切。



中学生

モノレール等を安くすると遠いところまで遊びに行きやすい。一軒家が欲しいが、高いと買いにくいから安くして欲しい。食事や遊び、スポーツに使えるお金が欲しい。



小学生

学校の休み時間を長くして欲しい。



中学生

子育て世帯のミルク購入費を半額にし、スーパー等の食品を安くして欲しい。値引きの時間を早めにして欲しい。自立や一人で生活するための家を借りるお金を配布して欲しい。

(3) 意見の紹介

スマホやインターネットの使い方で気をつけていること、工夫していること



インターネットから離れられない場合には、インターネットを活用した勉強をする。

大学生等



親が率先して、スマホを触らないようにし、勉強している姿を見せることで、親の真似をするよう仕向ける。

大学生等



スマホを使わない趣味を作ったらいと思う。規制が厳しいと反動で使い過ぎてしまうことがあるため、バランスが大事だと思う。

高校生、大学生等、若者



スマホやゲーム以外の家族との時間を増やす。

高校生



横になってスマホを見ると、片目だけで見ないようにしている。

大学生等



目が悪くならないようタブレットの使い過ぎに気をつけている。

小学生



スマホを使っていい時間と勉強をする時間を決めて、メリハリをつけるのがいい。

小学生、中学生、高校生、大学生等、若者



使った時間を可視化するなど、使用時間を気にかけることを意識する。

小学生、高校生、大学生等



スマホの使用時間や睡眠時間等でポイント（PayPayや交通IC）がたまるようにすると、使い過ぎ防止にいいと思う。

大学生等



人と会う時、話している時は極力触らないようにしている。

大学生等